

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にし履修を行って下さい。
- ・とくに、プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それをはるかに上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたりベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

日本研究プログラム

履修のしかた

- ★ 日本研究プログラムのカリキュラムは、＜導入・理論＞＜日本研究各論＞＜協働・実践＞という 3 つのカテゴリーに分かれています。メジャーでは、必修科目の「日本研究概論」と、＜導入・理論＞カテゴリーから 4 単位以上、＜日本研究各論＞カテゴリー8 単位以上、＜協働・実践＞カテゴリー 6 単位以上で合計 32 単位以上の履修が必要です。マイナーには必修科目はなく、3 カテゴリーから 4 単位以上ずつ、合計 16 単位以上の履修が必要です。
- ★ ＜導入・理論＞カテゴリーでは、基幹科目である「日本研究概論」がメジャーの必修です。「日本研究概論」は専門基礎科目の「地域研究入門」が先修条件となっていますので、履修するには事前に「地域研究入門」の単位を取得している必要があります。さらに、メジャーの場合は、＜導入・理論＞カテゴリーのその他 4 科目から 4 単位以上(2 科目以上)履修する必要があります。それぞれ、興味のある科目を履修してください。マイナーの場合は必修科目はなく、カテゴリーからの 4 単位以上の履修が必要です。
- ★ ＜日本研究各論＞カテゴリーでは、日本の歴史、政治、経済、社会、文化を学ぶことができます。どの科目を選んでもよいように設計されていますので、歴史を中心に学ぶ、政治・経済を中心に学ぶ、文学を中心に学ぶというように、それぞれの関心に基づいて科目を選んでください。その際、先修条件のある科目がありますので、注意してください。メジャーで 8 単位以上、マイナーで 4 単位以上の履修が必要です。
- ★ ＜協働・実践＞カテゴリーでは、国際社会への貢献について考える科目が用意されています。多文化社会や多様性を考える科目から、国際政治、国際経済、国際コミュニケーションまで、国際社会について考える基礎が整います。国際協力フィールドワーク(日本)の履修も推奨されます。メジャーでは 6 単位以上、マイナーで 4 単位以上の履修が必要です。
- ★ メジャーの必修科目「日本研究概論」には専門基礎科目の「地域研究入門」が先修条件となっていますので、早いうちに履修するようにしてください。

他のプログラムとの関係

- ★ 人文領域の「文学」の日本文学、「言語学」の日本語、社会領域の「歴史学」「文化人類学」「法・政治学」「社会学」が関連の深いプログラムとなっており、科目の重複もあります。メジャー・マイナーやダブルメジャーの登録に有利であるだけでなく、これらのプログラムの科目を学ぶことにより、日本研究の学びも深まります。
- ★ 同じ統合領域ではありますが、「国際協力」「メディア・ジャーナリズム」「博物館学」「多文化共生」「地域デザイン」「言語教育」プログラムとも関係が深く、日本研究プログラムの最終目標である国際貢献を考慮した際、これらプログラムにおける学びは示唆に富むことでしょう。

留学・教職その他

- ★ 留学は、日本を研究対象とする上でも貴重な機会となりますので、積極的に参加してみましょう。留学中には日本を外から眺めることとなり、日本を相対的に捉え直すきっかけとなります。つまり、日本の問題や特色を鮮明に理解することができ、日本に対する海外のまなざしについても如実に知ることができるのです。
- ★ 教職は、国語や社会、地理歴史、公民の教職課程の履修が可能です。履修ガイドの「資格・教職等」を参照してください。

学生へのメッセージ

- ★ 日本研究は、わたしたちの身近にある日本の事例を対象とする学問です。身近にあるだけに、問題として考察することは難しいかもしれません。留学について、日本を相対的に捉え直す機会であると書きましたが、日本国内でも地域によってさまざまな変化がありますし、また時代によっても大きく異なります。そうした違いに注意を払い、比較検討していくようにしましょう。ふとした疑問が大きな発見に結びつきます。まずは、身の回りの「あたりまえ」を疑って、「なぜ」「どうして」と多くの問いを立ててみましょう。その問いを念頭に置くだけで、本プログラムの学びをより深くすることができるでしょう。

日本研究プログラム

1 国際貢献を見据えて日本を学ぶ履修モデル

この履修モデルは、日本について学び、その成果を国際社会で生かすことを主眼においたものです。日本研究プログラム自体が、日本についての知見を国際社会に役立てるよう設計されたものですが、特に、＜協働・実践＞カテゴリーの科目を多く履修するようなモデルを示しました。

まず、＜導入・理論＞カテゴリーでは「文化地理学」や「文化人類学の歴史と方法」といった世界の諸地域における人々の生活や文化の諸相を明らかにする学問の基礎を学びます。＜日本研究各論＞カテゴリーからは「現代日本の政治Ⅰ・Ⅱ」や「日本のジャーナリズム」など、現代の日本社会を批判的に考察する科目を選びました。また、「江戸から学ぶ環境」「日本の技術・産業」など、国際社会に貢献しやすい事例を学ぶ科目を推奨しています。さらに、＜協働・実践＞カテゴリーの科目を多く履修することで、国際問題と関連させて思考するモデルとなっています。

日本研究プログラム科目

Level カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入・理論	○	文化人類学の歴史と方法	2	◎	日本研究概論	2						
				○	文化地理学	2						
				○	比較社会学A	2						
					文化社会学A	2						
日本研究各論					日本の歴史ⅠA	2		日本考古学	2			
					日本の歴史ⅠB	2		日本民俗学	2			
					日本の歴史ⅡA	2		近代日本の政治と外交	2			
					日本の歴史ⅡB	2	○	日本の技術・産業	2			
				○	メディア特講(現代マンガ・アニメ考)	2		平安文学の世界	2			
				○	現代日本の政治Ⅰ	2		中世文学の世界	2			
				○	現代日本の政治Ⅱ	2		江戸文学の世界	2			
					日本経済論	2		近代文学の世界	2			
				○	地域社会学A	2		言語から考える日本文化	2			
					文化社会学B	2						
				○	日本のジャーナリズム	2						
				○	日本芸術論	2						
協働・実践				○	江戸から学ぶ環境	2						
				○	多文化社会論	2	○	国際協力フィールドワーク(日本)	2			
					日本語の多様性と社会	2						
				○	科学・技術・社会A	2						
				○	科学・技術・社会B	2						
				○	地球市民社会論	2						
				○	国際開発論	2						
					国際政治学	2						
				○	国際経済学	2						
					地域観光論	2						
				○	国際コミュニケーション	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 地域研究入門〔2〕
- ・ 日本の宗教・世界の宗教〔2〕
- ・ 平和論〔2〕
- ・ 持続可能な社会〔2〕
- ・ SDGsとグローバルガバナンス〔2〕
- ・ 模擬国連〔2〕
- ・ 平和構築論〔2〕
- ・ 環境NPO・NGO〔2〕
- ・ 地球環境問題と国際取組〔2〕
- ・ 資源人類学〔2〕
- ・ 開発の人類学〔2〕
- ・ 国際関係史A〔2〕
- ・ 国際関係史B〔2〕

日本研究プログラム

2 現代日本社会を中心に学ぶ履修モデル

この履修モデルは、現代の日本社会について深く考察するモデルです。日本は、戦後の復興、高度経済成長、バブル崩壊、失われた20年を経て多くの問題を抱えています。日本の諸問題を学びつつ、世界に目を向けることで、世界の問題解決に対する貢献を考えます。

<導入・理論>カテゴリーからは、家族、教育、労働など、現代社会をめぐる多様な問題を考える「比較社会学」をはじめ、基礎的な概念を学びます。<日本研究各論>カテゴリーからは、現代日本の社会を批判的に学ぶ科目を推奨しています。政治、経済、社会について学び、同時にジャーナリズム・メディアの手法も修めます。<協働・実践>カテゴリーからは、環境や人権、ジェンダー、紛争といったさまざまな国際問題を扱う科目を推奨しています。日頃から、日本の、そして、世界の諸問題の情報を収集し、思索を深めましょう。

日本研究プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリー	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入・理論		文化人類学の歴史と方法	2	◎	日本研究概論	2						
				○	文化地理学	2						
				○	比較社会学A	2						
				○	文化社会学A	2						
日本研究各論					日本の歴史ⅠA	2		日本考古学	2			
					日本の歴史ⅠB	2		日本民俗学	2			
					日本の歴史ⅡA	2	○	近代日本の政治と外交	2			
					日本の歴史ⅡB	2	○	日本の技術・産業	2			
				○	メディア特講(現代マンガ・アニメ考)	2		平安文学の世界	2			
				○	現代日本の政治Ⅰ	2		中世文学の世界	2			
				○	現代日本の政治Ⅱ	2		江戸文学の世界	2			
				○	日本経済論	2		近代文学の世界	2			
				○	地域社会学A	2		言語から考える日本文化	2			
				○	文化社会学B	2						
				○	日本のジャーナリズム	2						
					日本芸術論	2						
協働・実践					江戸から学ぶ環境	2						
				○	多文化社会論	2		国際協力フィールドワーク(日本)	2			
					日本語の多様性と社会	2						
					科学・技術・社会A	2						
					科学・技術・社会B	2						
				○	地球市民社会論	2						
				○	国際開発論	2						
				○	国際政治学	2						
				○	国際経済学	2						
				○	地域観光論	2						
				○	国際コミュニケーション	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 地域研究入門〔2〕
- ・ 社会学概論〔2〕
- ・ SDGsとグローバルガバナンス〔2〕
- ・ 平和論〔2〕
- ・ 持続可能な社会〔2〕
- ・ 開発経済学〔2〕
- ・ メディアと人権〔2〕
- ・ 平和構築論〔2〕
- ・ メディアとジェンダー〔2〕
- ・ 多文化共生の人類学〔2〕

日本研究プログラム

3 日本のアナログ技術を再考する履修モデル

日本はかつて「科学技術立国」と謳われていました。この履修モデルでは、その日本のアナログの技術に着目します。技術は、Mechanical Artの訳語として使われた明治時代の新語です。自然に人為を加え、文化的な生活を営むための手段である技術は、まさに文化をつくるものといえます。この文化を支える技術を介して、日本を捉え、世界を考えて行くという日本研究の特色ある履修モデルです。

<導入・理論>カテゴリーでは、「文化地理学」「文化人類学」「文化社会学」を通して、文化を学問として考察するための基礎的な理論を学びます。<日本研究各論>カテゴリーからは、「日本考古学」「日本民俗学」といった過去の技術から、「日本の技術・産業」「メディア特講(現代マンガ・アニメ考)」といった現在の技術まで学ぶ科目を推奨します。<協働・実践>カテゴリーからは、技術を通して国際貢献を考える科目を選んでいきます。

日本研究プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入・理論	○	文化人類学の歴史と方法	2	◎	日本研究概論	2						
				○	文化地理学	2						
					比較社会学A	2						
				○	文化社会学A	2						
日本研究各論					日本の歴史ⅠA	2	○	日本考古学	2			
					日本の歴史ⅠB	2	○	日本民俗学	2			
					日本の歴史ⅡA	2		近代日本の政治と外交	2			
					日本の歴史ⅡB	2	○	日本の技術・産業	2			
				○	メディア特講(現代マンガ・アニメ考)	2		平安文学の世界	2			
					現代日本の政治Ⅰ	2		中世文学の世界	2			
					現代日本の政治Ⅱ	2		江戸文学の世界	2			
				○	日本経済論	2		近代文学の世界	2			
					地域社会学A	2		言語から考える日本文化	2			
				○	文化社会学B	2						
					日本のジャーナリズム	2						
				○	日本芸術論	2						
協働・実践				○	江戸から学ぶ環境	2						
					多文化社会論	2	○	国際協力フィールドワーク(日本)	2			
					日本語の多様性と社会	2						
				○	科学・技術・社会A	2						
				○	科学・技術・社会B	2						
				○	地球市民社会論	2						
				○	国際開発論	2						
					国際政治学	2						
				○	国際経済学	2						
				○	地域観光論	2						
					国際コミュニケーション	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 地域研究入門〔2〕
- ・ 科学技術コミュニケーション論A〔2〕
- ・ 科学技術コミュニケーション論B〔2〕
- ・ 科学技術史〔2〕
- ・ 地域デザイン概論〔2〕
- ・ コミュニティ・アート〔2〕
- ・ 文化遺産論〔2〕
- ・ 文化政策論〔2〕
- ・ 人文地理学〔2〕
- ・ 美学・芸術論〔2〕
- ・ 開発の人類学〔2〕
- ・ 博物館資料論〔2〕

日本研究プログラム

4 日本の伝統文化を中心に学ぶ履修モデル

日本は、伝統文化と近未来が融合すると評されることがしばしばあります。SF小説のようなネオン街や高層ビルの裏側に神社仏閣があるといった雑然とした都市空間が日本の代表的な表象です。この履修モデルでは、この日本の伝統文化の方に着目しています。

<導入・理論>カテゴリーからは、必修科目の「日本研究概論」のほか、場所・空間・地域・環境・生態・景観といったキーワードを有する「文化地理学」、日本文化の諸論点を扱う「文化社会学A」を履修し、基礎理論を身につけます。<日本研究各論>カテゴリーからは、「日本の歴史」をはじめ、古典文学や言語、芸術を中心に学びます。<協働・実践>カテゴリーからは、伝統文化の多様な捉え方について学ぶために、「多文化社会論」「日本語の多様性と社会」「地域観光論」の履修を推奨しています。

日本研究プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入・理論		文化人類学の歴史と方法	2	◎	日本研究概論	2						
				○	文化地理学	2						
					比較社会学A	2						
				○	文化社会学A	2						
日本研究各論				○	日本の歴史ⅠA	2	○	日本考古学	2			
				○	日本の歴史ⅠB	2	○	日本民俗学	2			
				○	日本の歴史ⅡA	2		近代日本の政治と外交	2			
				○	日本の歴史ⅡB	2		日本の技術・産業	2			
					メディア特講(現代マンガ・アニメ考)	2		平安文学の世界	2			
					現代日本の政治Ⅰ	2		中世文学の世界	2			
					現代日本の政治Ⅱ	2		江戸文学の世界	2			
					日本経済論	2		近代文学の世界	2			
					地域社会学A	2		言語から考える日本文化	2			
					文化社会学B	2						
					日本のジャーナリズム	2						
				○	日本芸術論	2						
協働・実践				○	江戸から学ぶ環境	2						
				○	多文化社会論	2		国際協力フィールドワーク(日本)	2			
				○	日本語の多様性と社会	2						
					科学・技術・社会A	2						
					科学・技術・社会B	2						
					地球市民社会論	2						
					国際開発論	2						
					国際政治学	2						
					国際経済学	2						
				○	地域観光論	2						
					国際コミュニケーション	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 地域研究入門〔2〕
- ・ 平安文学特論〔2〕
- ・ 中世文学特論〔2〕
- ・ 江戸文学特論〔2〕
- ・ 近代文学特論〔2〕
- ・ 日本史概論A〔2〕
- ・ 日本史概論B〔2〕
- ・ 北東アジアの歴史〔2〕
- ・ 日本思想史A〔2〕
- ・ 日本思想史B〔2〕
- ・ 日韓交流史〔2〕
- ・ 日中交流史〔2〕
- ・ 儒教文化論A〔2〕
- ・ 仏教文化論A〔2〕
- ・ 儒教文化論B〔2〕
- ・ 仏教文化論B〔2〕
- ・ 国語・漢字演習Ⅰ〔2〕
- ・ 国語・漢字演習Ⅱ〔2〕

日本研究プログラム

5 社会、地理歴史、公民の教職課程モデル(マイナー)

社会、地理歴史、公民の教職課程のマイナー登録の場合の履修モデルです。推奨科目は、いずれも教科に関する科目リストに含まれています。履修ガイドの該当箇所を確認しながら、履修計画を立ててください。

日本研究プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入・理論		文化人類学の歴史と方法	2		日本研究概論	2						
				○	文化地理学	2						
				○	比較社会学A	2						
					文化社会学A	2						
日本研究各論				○	日本の歴史ⅠA	2		日本考古学	2			
				○	日本の歴史ⅠB	2		日本民俗学	2			
				○	日本の歴史ⅡA	2		近代日本の政治と外交	2			
				○	日本の歴史ⅡB	2		日本の技術・産業	2			
					メディア特講(現代マンガ・アニメ考)	2		平安文学の世界	2			
					現代日本の政治Ⅰ	2		中世文学の世界	2			
					現代日本の政治Ⅱ	2		江戸文学の世界	2			
					日本経済論	2		近代文学の世界	2			
				○	地域社会学A	2		言語から考える日本文化	2			
					文化社会学B	2						
					日本のジャーナリズム	2						
					日本芸術論	2						
					江戸から学ぶ環境	2						
協働・実践					多文化社会論	2		国際協力フィールドワーク(日本)	2			
					日本語の多様性と社会	2						
					科学・技術・社会A	2						
					科学・技術・社会B	2						
					地球市民社会論	2						
					国際開発論	2						
				○	国際政治学	2						
				○	国際経済学	2						
					地域観光論	2						
					国際コミュニケーション	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 日本史概論A〔2〕
- ・ 日本史概論B〔2〕
- ・ 世界史概論A〔2〕
- ・ 世界史概論B〔2〕
- ・ 地理学概論〔2〕
- ・ 地誌学概論〔2〕
- ・ 政治学概論〔2〕
- ・ 社会学概論〔2〕
- ・ 哲学概論〔2〕
- ・ 倫理学概論〔2〕
- ・ 宗教学概論〔2〕
- ・ 心理学概論〔2〕
- ・ 中等社会科・地理歴史科教育法Ⅰ〔2〕
- ・ 中等社会科・地理歴史科教育法Ⅱ〔2〕
- ・ 中等社会科・公民科教育法Ⅰ〔2〕
- ・ 中等社会科・公民科教育法Ⅱ〔2〕